

ヒラタチャタテ

分類 嚙虫目コナチャタテ科

学名 *Liposcelis bostrychophilus*

英名 Booklouse



■解説¹⁾

本種は、屋内に棲息する最も普通の種類で、日本各地に広く分布している。本種は、重要な室内害虫で、穀類や貯蔵加工食品、動物標本などを加害する。本種は、多湿を好み、動植物やカビを食べるが、あまりカビの繁殖のひどい場所には生息しない。

本種は、単為生殖を行い、光に対して少しでも陰になるような場所で産卵を行う。本種は不完全変態であり、幼虫・成虫ともに類似した形態である。本種の発生は1年中見られるが、夏季に多く、特に9月に多発することが多い。

■体長²⁾

卵 : 成虫の体長の1/3

幼虫 : -

蛹 : -

成虫 : 1mm 内外

■産卵数

産卵数/生涯 : 最高 147 卵²⁾

■ライフサイクル²⁾

卵 : 9~13 日 (エビオス粉末 27°C 70~90%R. H.)

幼虫 : 9~13 日 (エビオス粉末 27°C 70~90%R. H.)

蛹 : -

成虫 : >161 日

■発育零点 (発育停止温度)

-

【参考文献】

- 1) 徳永雅明 : 医用昆虫学 (上巻)
- 2) 多田茂子 : 衛生動物, 7, 195 (1956)